

2016-B		VI71-B			
拠出金・基金 の名称		メコン河委員会拠出金			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】メコン河委員会(MRC)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／農村振興局設計課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 メコン河委員会拠出金は、日メコン協力における我が国のコミットメントを実現し、メコン河流域の持続的な水資源開発に資するため、以下の活動等に用いられている。 1 調査・データベースの構築・更新(土地利用や地下水利用、農村における貧困の実態調査等) 2 将来の食糧需給の分析、農業用かんがい施設の周辺環境への影響評価 3 MRC加盟国のかんがい技術者の人材育成					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成28年度	41,183	343	-	1米ドル=120円	100%
平成27年度	37,750	343	-	1米ドル=110円	100%
平成26年度	36,988	381	-	1米ドル= 97円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 当委員会は、メコン河下流域の水資源に関連する開発と管理についての常設事務所を持つ唯一の国際機関であり、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。また、地域の持続的開発と成長の基盤となる水及び関連する資源の管理を扱う機関として、メコン地域における環境及び資源の保全、食料安全保障を通じた貧困の解消、また政治的な安定に大きく寄与している。 流域国(加盟国)による会合や、流域国とドナーの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的に実施し、我が国を含む各ドナーの意見を作業計画や事務局の組織改革などに反映させており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。 MRC5ヵ年戦略計画(2016～2020年)には、我が国からの拠出事業が含まれており、互いに同じ方向性を持って活動に取り組んでいる。					
【備考】					